

## 修得目標 医療技術学科臨床工学コース

学科の修得目標		全学の修得目標	4要素
レベル1	レベル2		
A 医療人としての感性豊かな人間性、幅広い教養を有し、倫理観、生命の尊厳について認識することができる。	1 社会人としてのマナーを理解し、行動することができる	自律・自立して学修できる	態度・志向性
	2 医療人としての教養を学び、実践することができる	人文科学、社会科学、自然科学について幅広い関心と知識を有する	知識・理解
	3 医療人としての倫理観や生命の尊厳について自身の意見を述べることができる	修得した知識・技術で自分の力として行動し、その結果に責任を持つ	態度・志向性
	4 医療現場に適応できる人間性を備え、コミュニケーションを図り、自身の意見を述べることができる		態度・志向性
	5 医療に関する報道や情報に興味を持ち、情勢の変化について自身の意見を述べることができる	実社会の出来事について自ら学び、吸収することができる	汎用的技能
B 臨床工学技士に必要な医学・工学の知識を修得し、臨床の場において安全かつ的確に実践できる。	6 臨床工学技士に必要な基礎医学・臨床医学的知識を学び、実際の業務の手技を実践することができる		汎用的技能
	7 臨床工学技士に必要な工学的・医工学知識を学び、医療機器の原理を説明することができる		知識・理解
	8 臨床工学技士として主となる生命維持管理装置を正確かつ安全に操作することができる	多様な情報を収集・分析して適正に判断し、効果的に活用できる	汎用的技能
	9 治療のために必要な一般医用機器を正確かつ安全に操作することができる		汎用的技能
	10 医療全体の安全を担保するための安全管理を実践することができる	常に情報を収集し、それらを基に自分なりの考えを発信できる	汎用的技能
C 他職種のスタッフとの良好なコミュニケーション能力を有し、チーム医療の一員としての役割を果たす態度を有している。	11 チーム医療の重要性を理解し、臨床工学技士が果たす役割を説明することができる	協働作業によって新たなものを構築することができる	態度・志向性
	12 他職種に対して臨床工学的な側面から自身の意見を述べることができる	他者に方向性を示し、目標の実現のために動員できる	態度・志向性
	13 他職種の業務内容を理解し、連携・協働についてディスカッションすることができる		態度・志向性
D 臨床工学に関する基本的な知識や技術を基盤として、継続して学習・研究を行う態度を有し、さらなる創造力と向上心を持つことができる。	14 臨床工学の基本的な知識・技術の修得に留まらず、自らの目標に対して新たな課題を見出すことができる	獲得した資質・能力を総合的に活用し、自らが立てた課題にそれらを適用することで解決することができる	統合的な学習経験と創造的思考力
	15 修得した知識・技術のなかで自らの得意分野を後進に指導することができる	自分の得意分野を見つけ、個性として昇華させることができる	態度・志向性
	16 自ら修得した臨床工学分野の疑問点を研究し、口頭・文章で説明することができる	問題を発見し、解決に必要な情報を収集・分析・整理することで解決できる	汎用的技能
	17 臨床工学分野の海外と日本の違いを説明することができる	多文化・異文化に関する知識をもって物事を判断することができる	知識・理解
E 修得した臨床工学分野の知識・技術を活用し、社会に貢献する意欲を有する。	18 患者の治療に必要な臨床工学の知識や技術を他職種（医師・看護師）に説明することができる		汎用的技能
	19 修得した知識を第三者が理解できるよう発表することができる	口頭・書面によるコミュニケーション・プレゼンテーションの能力を有する	汎用的技能
	20 海外における臨床工学分野の知識の吸収に励み、海外に向けた発表を意識して積極的に研究に取り組むことができる	海外との交流を積極的に行う姿勢を有する	態度・志向性



カリキュラムマップ 医療技術学科臨床工学コース

科目区分	科目名	必修・選択等区分	配当年次	【医療技術学科臨床工学コース2020~2021年度入学生】ディプロマ・ポリシー				
				1	2	3	4	5
教養分野	環境科学	選択	1年		○			
	基礎化学	選択	1年	○	○			
	生物学	必修	1年	○	○			
	医療統計学	必修	1年	○	○			
	医療物理学	選択	1年	○	○		○	
	情報処理演習 I	必修	1年	○	○		○	
	情報処理演習 II	必修	1年	○	○		○	
	文章表現法	必修	1年	○				
	医療コミュニケーション学	必修	1年	○		○		○
	医療倫理学	必修	1年	○				
	心理学	選択	1年	○				
	日本国憲法	選択	2年	○				
	郷土の歴史と文化と生活	必修	1年	○				
	経済のしくみ	選択	2年	○				
	英語 I	必修	1年	○				
	英語 II	必修	1年	○				
	医学英語	選択	2年	○				
	韓国語と文化理解	選択	1年	○				
	中国語と文化理解	選択	1年	○				
	国際事情	自由	1年	○				
専門基礎分野	解剖学 I	必修	1年	○	○			○
	解剖学 II	必修	1年	○	○			○
	生理学	必修	1年	○	○			○
	生化学	必修	1年	○	○			○
	医学総論	必修	1年	○	○			○
	公衆衛生学	必修	2年	○	○			○
	病理学	必修	2年	○	○			○
	薬理学	必修	2年	○	○			○
	免疫学	必修	2年	○	○			○
	看護概論	必修	2年	○	○	○	○	○
	基礎数学	必修	1年	○	○			○
	応用数学	必修	1年	○	○			○
	応用物理学	必修	1年	○	○			○
	電気工学 I	必修	1年	○	○			○
	電気工学 II	必修	2年	○	○			○
	電気・電子工学実習	必修	2年	○	○	○		○
	電子工学	必修	2年	○	○			○
	機械工学 I	必修	1年	○	○			○
	機械工学 II	必修	2年	○	○			○
	計測工学	必修	2年	○	○			○
専門分野	情報工学 I	必修	1年	○	○			○
	情報工学 II	必修	1年	○	○			○
	アート演習	選択	2年	○	○	○		○
	医療情報シス	必修	2年	○	○			○
	地域医療創生学(人文科学)	選択	2年	○	○			
	医療政策学(社会科学)	選択	3年	○	○			
	医療行政学(社会科学)	選択	2年	○	○			
	医用工学	必修	2年	○	○			○
	生体物性工学	必修	3年	○	○			○
	生体材料工学	必修	3年	○	○			○
	生体計測装置学	必修	2年	○	○			○
	生体計測装置学実習	必修	3年	○	○	○	○	○
	臨床工学基礎演習 I	必修	1年	○	○			○
	臨床工学基礎演習 II	必修	2年	○	○			○
	臨床工学応用演習 I	必修	2年	○	○			○
	臨床工学応用演習 II	必修	3年	○	○			○
	臨床工学応用演習 III	必修	3年	○	○			○
	医用機器学概論	必修	1年	○	○			○
	放射線工学概論	必修	3年	○	○			○
	医用治療機器学 I	必修	2年	○	○			○
	医用治療機器学 II	必修	2年	○	○			○
	医用治療機器学実習	必修	3年	○	○	○	○	○
	生体機能代行装置学 I	必修	2年	○	○			○
	生体機能代行装置学 II	必修	2年	○	○			○
	生体機能代行装置学 III	必修	3年	○	○			○
	生体機能代行装置学 IV	必修	3年	○	○			○
	生体機能代行装置学 V	必修	3年	○	○			○
	生体機能代行装置学実習 I	必修	3年	○	○	○	○	○
	生体機能代行装置学実習 II	必修	3年	○	○	○	○	○
	生体機能代行装置学実習 III	必修	3年	○	○	○	○	○
共通専門分野	医用機器安全管理 I	必修	3年	○	○			○
	医用機器安全管理 II	必修	3年	○	○			○
	医用機器安全管理実習	必修	3年	○	○	○	○	○
	医療関係法規	必修	3年	○	○			○
	臨床医学 I	必修	2年	○	○			○
	臨床医学 II	必修	2年	○	○			○
	臨床医学 III	必修	2年	○	○			○
	臨床医学 IV	必修	3年	○	○			○
	臨床実習 I	選択	3年	○	○	○	○	○
	臨床実習 II	選択	4年	○	○	○	○	○
	臨床工学総合演習	選択	4年	○	○			○
	臨床統計学	選択	4年	○	○			○
	臨床疫学	選択	4年	○	○			○
	手心医療	必修	4年	○	○	○	○	○
	研究方法論 I	選択	2年	○	○		○	○
	研究方法論 II	選択	3年	○	○		○	○
	卒業研究	選択	4年	○	○		○	○

カリキュラムマップ 医療技術学科臨床工学コース

科目区分	科目名	必修・選択等区分	配当年次	【医療技術学科臨床工学コース2019年度入学生】ディプロマ・ポリシー				
				1	2	3	4	5
	医療人として必要とされる、幅広い教養を持った感性豊かな人間性、倫理観、生命の尊厳についての基本的認識を身につけている。			臨床工学技士に必要な医学・工学・医用工学の知識を修得し、臨床の場において、安全・的確かつ誠実に実践できる。	他職種の医療チームのスタッフと良好なコミュニケーション能力を有し、高度なチーム医療の一員としての役割を果たす態度を有している。	臨床工学に関する基本的な知識や技術を基盤として、この分野の発展に伴って継続して学習・研究を行う態度を有している。		修得した臨床工学分野の知識・技術を基礎として、社会に貢献する意欲を有する。
共通基礎分野	環境科学	選択	1年		○			
	基礎化学	選択	1年	○	○			
	生物学	必修	1年	○	○			
	医療統計学	必修	1年	○	○			
	医療物理学	選択	1年	○	○		○	
	情報処理演習Ⅰ	選択	1年	○	○		○	
	情報処理演習Ⅱ	選択	1年	○	○		○	
	文章表現法	必修	1年	○				
	医療コミュニケーション学	必修	1年	○		○		○
	医療倫理学	必修	1年	○				
	心理学	選択	1年	○				
	ボランティア概論	選択	1年	○				○
	人間と教育	選択	1年	○				
	日本国憲法	選択	1年	○				
	郷土の歴史と文化と生活	必修	1年	○				
	経済のしきみ	選択	1年	○				
	スポーツⅠ	選択	1年	○				
	スポーツⅡ	選択	1年	○				
	英語Ⅰ	必修	1年	○				
	英語Ⅱ	必修	1年	○				
	医学英語	選択	2年	○				
	韓国語と文化理解	選択	1年	○				
	中国語と文化理解	選択	1年	○				
専門基礎分野	解剖学Ⅰ	必修	1年	○	○		○	
	解剖学Ⅱ	必修	1年	○	○		○	
	生理学	必修	1年	○	○		○	
	生化学	必修	1年	○	○		○	
	医学総論	必修	1年	○	○		○	○
	公衆衛生学	必修	2年	○	○		○	○
	病理学	必修	2年	○	○		○	
	薬理学	必修	2年	○	○		○	
	免疫学	必修	2年	○	○		○	
	看護概論	必修	2年	○	○	○	○	○
	基礎数学	必修	1年	○	○		○	
	応用数学Ⅰ	必修	1年	○	○		○	
	応用数学Ⅱ	必修	2年	○	○		○	
	電気工学Ⅰ	必修	1年	○	○		○	
	電気工学Ⅱ	必修	2年	○	○		○	
	電気・電子工学実習	必修	2年	○	○	○	○	
	電子工学	必修	2年	○	○		○	
	機械工学Ⅰ	必修	1年	○	○		○	
	機械工学Ⅱ	必修	2年	○	○		○	
	計測工学	必修	2年	○	○		○	
	情報工学Ⅰ	必修	1年	○	○		○	
	情報工学Ⅱ	必修	1年	○	○		○	
	♪印*弘演習	必修	2年	○	○	○	○	
	医療情報システム	必修	3年	○	○		○	
専門分野	医用工学	必修	2年	○	○		○	
	生体物性工学	必修	3年	○	○		○	
	生体材料工学	必修	3年	○	○		○	
	生体計測装置学	必修	2年	○	○		○	
	生体計測装置学実習	必修	3年	○	○	○	○	○
	医用機器学概論	必修	1年	○	○		○	
	放射線工学概論	必修	3年	○	○		○	
	医用治療機器学Ⅰ	必修	2年	○	○		○	
	医用治療機器学Ⅱ	必修	2年	○	○		○	
	医用治療機器学実習	必修	3年	○	○	○	○	○
	生体機能代行装置学Ⅰ	必修	2年	○	○		○	
	生体機能代行装置学Ⅱ	必修	2年	○	○		○	
	生体機能代行装置学Ⅲ	必修	3年	○	○		○	
	生体機能代行装置学Ⅳ	必修	3年	○	○		○	
	生体機能代行装置学Ⅴ	必修	3年	○	○		○	
	生体機能代行装置学実習Ⅰ	必修	3年	○	○	○	○	○
	生体機能代行装置学実習Ⅱ	必修	3年	○	○	○	○	○
	生体機能代行装置学実習Ⅲ	必修	3年	○	○	○	○	○
	医用機器安全管理学Ⅰ	必修	3年	○	○		○	
	医用機器安全管理学Ⅱ	必修	3年	○	○		○	
	医用機器安全管理学実習	必修	3年	○	○	○	○	○
	医療関係法規	必修	3年	○	○		○	
	臨床医学Ⅰ	必修	2年	○	○		○	
	臨床医学Ⅱ	必修	2年	○	○		○	
	臨床医学Ⅲ	必修	2年	○	○		○	
	臨床医学Ⅳ	必修	3年	○	○		○	
	臨床実習	必修	4年	○	○	○	○	○
	臨床工学総合演習	必修	4年	○	○	○	○	○
共通専門分野	チーム医療	必修	4年	○	○	○	○	
	研究方法論	選択	2年	○	○		○	○
	地域保健演習	選択	3年	○		○		○
	健康教育・支援演習	選択	4年	○		○		○
	研究基礎	選択	3年	○	○		○	
	卒業研究	選択	4年	○	○		○	○